

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		心身障害者通所訓練助成				所管	福祉部 障害福祉課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 昭和 5 6 年度	
		[施 策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区心身障害児(者)通所訓練事業実施要綱および同補助要綱			
	事業対象	直接の対象:ほおずきの家(学齢の知的障害児の放課後や休日の子ども活動)、こぼと園(心臓病の児童の保育活動)、最終的な対象:障害児						
	事業目的	18歳未満の障害児を対象に、日常生活における基本動作等の指導及び集団生活への適応訓練等を実施する団体に対して運営費を助成し、地域社会が一体となって心身障害児(者)の自立更生を促進することを目的とする。						
	事業内容	学齢の知的障害児の放課後や休日の子ども活動、就学前の心臓病の子どもの保育活動を実施する心身障害児(者)通所施設に対して事業助成をする。 【平成25年度助成実績額:18,169千円】						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	利用者数 (人)		29	32	30	29	
		通所訓練日数 (日)		311	317	302	311	
	成果指標	一人あたり通所訓練日数 (日)		67	100	64	67	
	決算額 (単位:千円)			18,465	19,003	18,169		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			900	1,666	1,704	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			332	871	41	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			18,134	18,132	18,129	
		総経費			19,366	20,669	19,874	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			19,366	20,669	19,874			
前年度から改善した事項		補助基準額等を明確にした補助要綱を作成した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	障害児に集団活動を体験させ、対人関係を学び、将来の自立生活に向けて大きな役割を果たしてる。また、障害のある学齢児童の放課後対策としての必要性が高い。					
	効率性	3	本事業は、民間団体の自主事業に対する補助であり、高い区民ニーズがあることと、団体だけの運営では困難なことから、区が助成する必要性がある。					
	手段の適切性	3	民間団体の自主事業に対する事業助成であり、現行の方法により本事業の目的を達成することが妥当である。					
	目的達成度	2	補助対象事業の安定的な運営が可能となり、障害児の通所施設が確保されるなど事業効果を果たしている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
心身障害児(者)の生活訓練等の場を確保し、障害児(者)の自立更生を促進するために必要であり、今後も現状を維持していく必要がある。また、ほおずきの家については、学齢児童の放課後対策としての位置づけもあり必要性が高いため、今後も事業規模を維持していく。								